

京都芸術 センター 通信



SEPTEMBER
2020
VOL.244

09

発行：京都芸術センター 2020年8月20日



森芳仁《新世界・海 序章3》



マヤコフ・エイジ



笹基能史《Vaulting Cajon》

京都芸術センター 20 周年記念事業

展覧会・パフォーマンス『We Age』

直訳すれば「私たちは歳をとる」という意味の「We Age」。これは、京都芸術センターが開設20周年を迎えるにあたり、時間の積み重ねに思いを馳せ、「誰もが歳をとる」というあたりまえのことに立ち返ってみようとした年間のテーマです。「We Age」公募展プロジェクトはこのテーマに合わせて、65歳以上の方を対象に「映像」「ロック」「ファッション」「パフォーマンス」のプランを募集し、8組による展覧会、6組による公演を9月に行います。

展覧会では、映像や立体など様々な作品が登場します。「京都での展示を」という思いを長年温めてきた方がいたり、とびきり遊び心を利かせた作品を制作している方など、創作意欲に溢れた方ばかりです。本業の傍ら創ることを始めた方もいますが、65歳を過ぎても創り続ける姿からは、創造の喜びや魅力を感じることができます。

パフォーマンスでは、フラメンコ、舞踏に加え、尺八とダンス、ロックといけばな、などの珍しいコラボレーションもあります。出演者たちは皆、やり

たいことが明確なだけでなく、気負わずに取り組む姿勢が印象的です。その中には、このプロジェクトを機に新しい取り組みに挑戦する方も。その姿は驚くほどのエネルギーがあります。

また、京都芸術センターでは単なるオンライン配信とは異なる、ウィズコロナの時代における新しい上演方法に挑戦します。会いたくても会えない、でも出演者・観客お互いの存在を確かに感じられるような公演にしたい、そうした思いを反映させました。パフォーマンスは2階の講堂で行い、真下の1階に位置するフリースペースを客席会場とします。観客は大型スクリーンでパフォーマンスを鑑賞します。リアルタイムの映像・音響に加え、出演者と観客双方がライブ感を味わえるよう、その他の仕掛けも考えます。どのような体験となるのか、皆さまの全身で確かめにいらしてください。

出演・出展できることを純粋に楽しむ彼らの姿はエネルギーに満ちています。彼らの底力をぜひ会場で感じてみてください！

八木志菜(アートコーディネーター)



今西恵利子

京都芸術センター20周年記念事業 展覧会・パフォーマンス『We Age』

【展覧会】

日時：9月5日(土)－10月4日(日)

10:00－20:00 ※会期中無休

会場：ギャラリー北・南ほか

【公演】

日時：9月21日(月・祝)、22日(火・祝)

第1部 12:30－13:30

第2部 14:00－15:00

第3部 15:30－16:30

会場：上演…講堂、客席…フリースペース

出展・出演：公募にて選ばれた14組

料金：無料

※パフォーマンスは要事前申込、8月25日(火)より受付開始

※詳細はウェブサイトをご確認ください。





宮坂直樹《Shared table applying modular, a French man and a Japanese woman》2019



山村祥子《いらない服に別れを - adieux aux vêtements inutiles -》2020

Profile

左)宮坂直樹(みやさか・なおき)

1985年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了。主な展覧会に「三つ空間」(トーキョー・アーツアンドスペース本郷、東京、2019)、「Tips」(京都芸術センター、2018)などがある。

WEB: <http://www.naokimiyasaka.com>

右)山村祥子(やまむら・しょうこ)

1984年生まれ、兵庫県在住。アメリカで現代美術を学ぶ。主に都市の消費者生活に焦点を当て、周囲の環境(もの・こと・ひと)に立ち止まり内省する、敬意や優しさを表すといった自他のコミュニケーションの在り方や他に向かう態度を問いかけ、提案することをテーマとして制作を行っている。

Artist in Residence program in Paris 2019/2020

宮坂直樹・山村祥子 報告展

2019年度にシテ・アンテルナショナル・デ・ザール(フランス・パリ)にて滞在制作に取り組んだアーティストのうち、宮坂直樹、山村祥子による報告展を開催します。

モデュロールとは、身体寸法、黄金比、フィボナッチ数から成る基準寸法の数列である。身体尺を用いることで機能的な空間把握を計り、比例数を用いることで限定された空間に短長辺のある方向性を備えた矩形を効率よく収納することを可能とする。——宮坂直樹

滞在中に出会った人々から「いらない服」を譲り受け、インタビューを行った。捨てられる、譲られるという極めて私的な「服との別れ」を、時間をかけてパブリックに取り上げることで、現代の私たちと服との関係性を浮かび上がらせる。——山村祥子

Artist in Residence program in Paris 2019/2020

宮坂直樹・山村祥子 報告展

日時：9月25日(金)～10月4日(日)10:00～20:00

※会期中無休・入場無料

※10月3日はニュー・ブランシュKYOTO 2020のため22:00まで延長開廊

会場：和室「明倫」ほか

主催：一般財団法人おおさか創造千島財団、ヴィラ九条山、京都芸術センター

【関連企画】ニュー・ブランシュKYOTO 2020

京都市の姉妹都市であるパリ市発祥のニュー・ブランシュ(白夜祭)に着想を得た、一夜限りの現代アートの祭典。本展覧会はニュー・ブランシュに参加しています。

日時：10月3日(土) 会場：市内各所

※詳細はニュー・ブランシュKYOTO2020ウェブサイトをご確認ください。

20周年記念グッズ紹介

京都芸術センター開設20周年を記念し、オリジナルグッズを作成しました。

●ミニ風呂敷

お弁当を包むのにちょうど良いサイズです。廊下の丸窓など、館内の特徴的なモチーフを使用し、京都芸術センターと同じ明倫学区にある宮井株式会社の協力により作成しました。風呂敷を片手に館内を歩いてみると、面白い発見があるかもしれません!

●ノート

表紙に20周年記念ロゴをちりばめたノート。表・裏それぞれ1ヶ所ずつ違うロゴが入っているので、探してみてください!

その他、ステッカーやピンバッジも窓口にて販売していますので、お手に取ってご覧ください。

●ステッカー……200円

●ノート……400円

●【数量限定】ピンバッジ……1,300円

●ミニ風呂敷(赤・青)……1,200円

※すべて税込 ※8月25日(火)より販売開始。

販売：京都芸術センター窓口(10:00～20:00)





京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えました!

テーマは“We Age”
(ウィー・エイジ)

(ロゴデザイン：松本久木)



最新情報はウェブサイトでご確認ください。

公式ウェブサイト | <https://www.kac.or.jp>



kyotoartcenter



@Kyoto_artcenter



@kyotoartcenter

Since 1971

MAEDA'S COFFEE

KYOTO ART CENTER 1F
MUROMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL: 075-221-2224
10:00～21:30 everyday





京都芸術センター叢書 二
「伝統芸能ことはじめ」
小林昌廣 著 定価 3,520円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは
下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<https://www.kac.or.jp/shop/>

京都芸術センター
KYOTO ART CENTER

交通案内

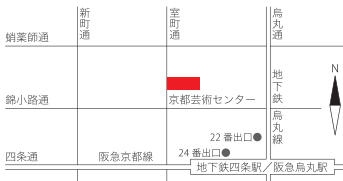
- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

- ギャラリー・図書室・情報コーナー・チケット窓口 10:00～20:00
- カフェ(改装工事のため当面の間閉店)
- 制作室・事務室 10:00～22:00

休館日 12月28日から1月4日

※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004
E-mail: info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会